

## 職務基礎力試験（数的・数的理解）

〔例題1〕 静水時の速さが時速22kmである船が、ある川を40kmさかのぼるのに、2時間30分かかった。この船が同じ40kmを下るのに1時間進んだところでエンジン故障をおこし、残りは川の流れの速度で流された。

このとき、40km下流に到着するまでにあとどのくらいの時間がかかるか。

1. 1時間
2. 1時間30分
3. 1時間45分
4. 2時間
5. 2時間15分

【正答4】

## 職務基礎力試験（数的・論理的能力）

〔例題2〕 合同な正多角形のタイル1種類を用いて、すき間のないように床に貼ることとした。次のア～エのうちから、すき間のないように貼れるタイルの形を2つ選んだ組合せとして妥当なのはどれか。

ただし、床の端にすき間ができるのは差し支えないものとする。

- ア．正三角形
- イ．正五角形
- ウ．正六角形
- エ．正八角形

- 1．ア、イ
- 2．ア、ウ
- 3．ア、エ
- 4．イ、ウ
- 5．イ、エ

【正答2】